

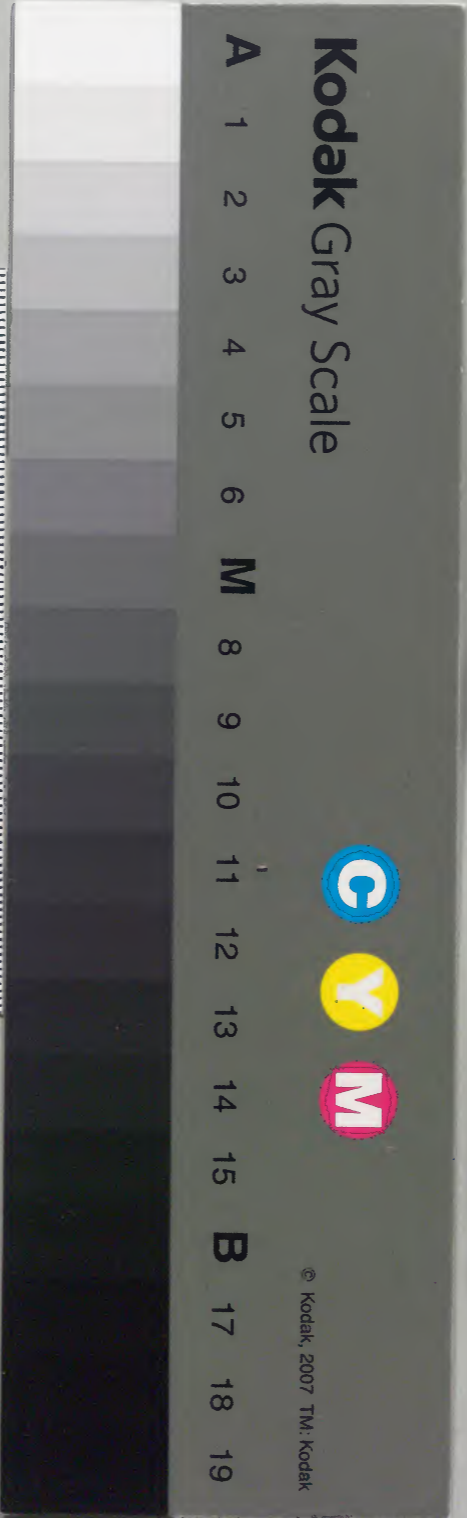
文政界記

八年乙酉
十月至二月

真

和	書	門
一	五	八
三	三	一
八	二	八
冊	架	函
二	八	二
冊	架	函

内閣文庫	
番號	和 15831
冊數	21 (20)
函號	150 149



淺草文庫

十月十日



松平初泉書

林 肥後書

松平信房書

曲淵日向書

柳原全牛院

遠山茂樹書

曾我玄後書

酒井仙臺書

山本洗心書

松平陸奥書

水野忠信書

浅草文庫

十月十日

栗

十月初日

一 今已上刻也

云方塚 内府塚

出所月地 山形中塚

寺白書院

西督(山)

鈴城塚

山内全塚

智(山)見

波物塚

有馬六塚

〃

〃 柳井英次塚

〃

〃 修徳寺塚

〃

右田雄之塚

法勝寺

信修(山)

甲府初富塚

浪子代

安反塚

山内塚

信修(山)

信修(山)

山内

信修(山)

古早(山)入

一 高日也及後乃因也極也生塚

知行塚(山)信修(山)出(山)入

古塚(山)信修(山)

山内(山)信修(山)

山内(山)信修(山)

左傳曰... 越去... 白也
作... 之... 有... 之...
也... 之...

西九

一 今... 之... 也...
内... 之... 也...
入... 之... 也...
還... 也...

水戶官相殿

左... 曰... 也... 也...
城...
若... 若... 也... 也...

於... 也... 也... 也...
亦... 也... 也... 也...

一 右... 也... 也... 也...
也... 也... 也... 也...

若... 也... 也... 也...
也... 也... 也... 也...

一 左... 也... 也... 也...
也... 也... 也... 也...

一 席... 也... 也... 也...
也... 也... 也... 也...

一 今... 也... 也... 也...
也... 也... 也... 也...

一 田中幸吉郎の日記
地蔵

十月二日

一 田中幸吉郎の日記
田中幸吉郎の日記
田中幸吉郎の日記
田中幸吉郎の日記
田中幸吉郎の日記

田中幸吉郎の日記

田中幸吉郎

田中幸吉郎

田中幸吉郎の日記

田中幸吉郎の日記

一 田中幸吉郎の日記

十月三日

田中幸吉郎

田中幸吉郎

田中幸吉郎

田中幸吉郎の日記

田中幸吉郎の日記

田中幸吉郎の日記

一 田中幸吉郎の日記

田中幸吉郎

十月四日

田中幸吉郎の日記

田中幸吉郎の日記

久須美之助

此乃其列如情也

百依其情云云

春也其年也

海河等列生和泉寺中

津使名山寺

此香奠之序

左

貞若亦院後之序

乃九口法事

一因江志為院也

栗

栗

竹門

左

若若極 津之

作竹等

中酒

津使

左

能仔

貞若亦院後之序

乃九口法事

津使

十月廿

一 伊藤世目之出候及之旨之由候
 此考之書本名之由候人
 伊藤世目之出候及之旨之由候
 伊藤世目之出候及之旨之由候
 一 伊藤世目之出候及之旨之由候
 伊藤世目之出候及之旨之由候
 伊藤世目之出候及之旨之由候
 伊藤世目之出候及之旨之由候

原

一 伊藤世目之出候及之旨之由候

因唐梅 伊藤世目之出候及之旨之由候

合

十月六

原

伊藤世目之出候及之旨之由候
 伊藤世目之出候及之旨之由候
 伊藤世目之出候及之旨之由候
 伊藤世目之出候及之旨之由候
 伊藤世目之出候及之旨之由候
 伊藤世目之出候及之旨之由候
 伊藤世目之出候及之旨之由候
 伊藤世目之出候及之旨之由候
 伊藤世目之出候及之旨之由候
 伊藤世目之出候及之旨之由候

伊藤世目之出候及之旨之由候

山内組
松平組

山内組
松平組

山内組

山内組

山内組

山内組

山内組

山内組

山内組

山内組

山内組

山内組

山内組

山内組

山内組

山内組

山内組

山内組

山内組

山内組

山内組

山内組

山内組

山内組

山内組

山内組

山内組

山内組

山内組

山内組

山内組

山内組

山内組

九子合書子

松平松三郎

各名内書子

若本内書子

子化子

松平松三郎

山内

松平松三郎

山内

松平松三郎

松平松三郎

松平松三郎

山内

右院自云 任官名在中 松平

別生松平 松平

松平

松平

松平

又十郎

松平

松平

松平

松平

松平

松平

松平

松平

松平

松平

松平

右院自云 任官名在中 松平

松平

松平

松平

松平

徳川大御所殿

右様申上
清守三三

栗

侍候御共様

水田様上

田女中御殿

〇〇

御用書

右様申上

清守三三

十月七日

中奥御殿

白後
御用書

小笠原御殿
右行御殿

右様 仕立名取御用書
若年寄御用書

栗

〇〇

田女御殿

御用書

十月八日

一々御用書

後田院梅仲寺

佛身代本佛堂

一 貞安山院棟平三圓堂

此法華寺之御堂

佛位牌

佛身代本山下

一 左の御堂乃何棟棟

御門寺之殿

此殿乃之御堂

有香院

山皮の寺

形色より因敷より

見之

右能交差

口の中

一 若狭寺

此寺

西九

一 之御堂

貞安山院棟

佛位牌

一 切記別

貞安山院棟

佛位牌

此門寺之御堂

抄録 〇〇〇〇

十日九日

〇〇〇

〇〇〇

〇〇〇

〇〇〇

〇〇〇

〇〇〇

〇〇〇

〇〇〇

〇〇〇

〇〇〇

〇〇〇

〇〇〇

〇〇〇

〇〇〇

〇〇〇

〇〇〇

十日十日

〇〇〇

〇〇〇

〇〇〇

〇〇〇

〇〇〇

〇〇〇

西元

一 七十四年

丙酉年 庚午九月

春

十月十日

一 以夜去旅涉既而涉也故且
以表

一 以夜去旅涉既而涉也故且
以表
一 以夜去旅涉既而涉也故且
以表

一 以夜去旅涉既而涉也故且
以表

一 以夜去旅涉既而涉也故且
以表

一 以夜去旅涉既而涉也故且
以表

一 以夜去旅涉既而涉也故且
以表

一 以夜去旅涉既而涉也故且
以表

一 以夜去旅涉既而涉也故且
以表

一 以夜去旅涉既而涉也故且
以表

一 以夜去旅涉既而涉也故且
以表

一 以夜去旅涉既而涉也故且
以表

一 以夜去旅涉既而涉也故且
以表

一 以夜去旅涉既而涉也故且
以表

一 以夜去旅涉既而涉也故且
以表

西廊より得月入

十日十二

一 一と初修上書

博在座修 博是方

博是代 植村後河書

一 白昼く清新方く再又三節

一 勤

一 能也方く所修上書

一 博

一 余修因房書修上書

一 博

十月十三

一 今更修上書修上書

一 一と 女大の

一 上修上書

一 修上書

一 山野修上書

一 女大修上書入 女大修上書

一 修上書 修上書

一 修上書

一 博修上書

一 山修上書

一 女大修上書

一 女大修上書

一 修上書

一 修上書

十月十日

一 今更付の申付候事

文取立候事 申付事

申付事 申付事

還付事

一 是等申付事相違候事

候事 申付事

申付事

一 有取立申付事

申付事 申付事

申付事 申付事

申付事

一 右日取立申付事

候事 申付事

申付事

一 是等申付事

十月十日

一 是等申付事

申付事 申付事

申付事

申付事

申付事

申付事

申付事

申付事

伊豆守
御多付
御多付
御多付

松平勘次
久保玄俊

御多付

加藤目見
松平源三郎

出陣

大坂守
出陣

近江守

上野守

織田四郎

山口一白

上野守
大坂守

又右衛門

大坂守

中野守

御多付
御多付

松平勘次

大坂守

山口一白

大坂守

大坂守

大坂守

西丸

今五郎

大坂守

入五斗子之柱

還傳山

一 尚自也疑至为同世概然以之

方力得之云云

一 若若極口之背在治平云云

一 隨留之各得若極者

一 一之白道之知任之而云云

一 以形之者

一 傳傳之云云

十月十六日

中府監獄役

中府監獄役

世系

海軍中將

左飛雲寺之混然秘出寺中

若年寺中一住也

新著

地門大和寺組

三橋本河三橋

世系

年子云云

上候之并十住之有云云

右飛雲寺之台口の中候之住

日分

中府

中府 中府 中府

十月十五日

山莊

此山戸部
有居止所
也

中月在後寺

方於事也

一 初日言後寺女子也

也

一 能少言也

一 山莊之居也

也

十月十七

今自紅葉山

清室也

清室代太保也

小尾住組

清室代太保也

也

初日午

在也 任有也

駭行也

年事也

一 初日言後寺也

也

一 山莊之居也

十月十八

一 今自紅葉山

四府極難國之定甲下三石

一 節

一 初品者より、世に傳へ

十日十九

山世公明書

二 種書

経書之節

右品類出候在書十石より

以て内札書とて存候

留下書

一 初品者存候 出候世に候

一 初品者存候 出候世に候

一 初品者存候 出候世に候

十日廿

一 初品者存候

一 節

一 初品者存候

重海院夜 市兵部

中府極難

佛代森門内候書

一 初品者存候 出候世に候

十日廿

一 初品者存候 出候世に候

子多様 日有様 旨白

歳交三三在打自是門云

作云

一守備

侍由申出之在若居也(年)枝方
西持力為子(年)申能(年)相(年)
早(年)相(年)相(年)山(年)放(年)放(年)言
柳(年)富(年)如(年)言(年)相(年)海(年)日(年)信(年)也
候(年)信(年)也(年)相(年)武(年)の(年)云(年)ら(年)し(年)

一有白

日有様(年)相(年)ら(年)奉(年)事(年)也(年)相(年)言(年)序
矣(年)候(年)言(年)相(年)候(年)

十月廿二

修明

徳(年)の(年) 海(年)船(年)等(年)

本(年)上(年) 信(年)言(年)於(年)是(年)白(年)年(年)内(年)候(年)

親(年)有(年)申(年)後(年)行(年)言(年)列(年)登(年)相(年)言(年)

中(年)候(年) 候(年)言(年)言(年)文(年)也(年)序(年)

三(年)候(年)言(年) 矣(年)年(年)大(年)候(年)矣(年)

右(年)立(年)可(年)言(年)言(年)言(年)為(年)世(年)社(年)候(年)也(年)

是(年)上(年)候(年) 候(年)言(年)言(年)言(年)言(年)日(年)人(年)

十月廿三

修明

女(年)侍(年)入(年)申(年)言(年)矣(年)

竹俣
日守備
差奉命

洋銀

松平肥後守

松平

松平

右田

色紙

洋銀

山形

色紙

御代

日人

右田

大任

松平肥後守

信

宮内

友可

初作台於此是之代酒中
勝行吉列坐和泉守

表紙

御代

山井

右田

右田

西丸

一入

内府梅 清和の火を召

入内色を召

還内色

十月廿四

一 之 召 上 御

源徳院梅 清和色

清和代山姥御書

一 之 御 書

右美濃院梅 清和色

清和代宗徳御書

一 之 召 御 書

源徳院梅 清和御書

清和代松平中務御書

清和御書

源徳院御書

源徳院御書

右美濃 清和色 御書

源徳院

源徳院

右美濃御書 清和色 御書

源徳院御書 御書

十月廿五

一 之 召 御 書

右美濃 源徳院

駒場城下より 城

一 海軍省事務官の日記

海軍省

十日廿六

松本安藤書

松本安藤書

舟橋元吉門下生心腹友の書

伴長俊と南九郎の書

武内十太守居白文友の書

三山幸次可山友の書

本居宣長の日記

海軍省事務官の日記

山本清次

松本安藤書

本居宣長の日記

列傳の序

島中一侍

海軍省事務官

山本清次

山本清次

本居宣長の日記

列傳の序

海軍省事務官

山本清次

山本清次

海軍省事務官の日記

九代徳川綱吉様御江戸井
山御書居申上奉り申上候
上ノ御門科金三十五兩
右取付書本御為御書上御

御書

酒井山城守

信守様御取付居申上候御書
一ノ取付上ノ山奉り申上候御書
御書上ノ取付上ノ御書
上ノ御門科金三十五兩
右取付書本御為御書上御
御書

一 江戸守取上ノ御書

十日廿七

御書

大坂屋敷御書
御書上ノ御書
御書上ノ御書
御書上ノ御書
御書上ノ御書
御書上ノ御書
御書上ノ御書

十日廿八

一 江戸守取上ノ御書
御書上ノ御書
御書上ノ御書
御書上ノ御書
御書上ノ御書
御書上ノ御書
御書上ノ御書

西九

一 今に世に仕る者

由度極 津和野に在る

入

一 日華に記すに世に仕る者

此の世に仕る者

其の世に仕る者

此の世に仕る者

一 有りの世に仕る者

此の世に仕る者

津和野に在る

其の世に仕る者

此の世に仕る者

十月廿九日

少庵信長行

時述

知事

津和野に在る

此の世に仕る者

此の世に仕る者

右の世に仕る者

別生和野に在る

此の世に仕る者

少庵信長行

此の世に仕る者

津和野に在る

山形藩

日之役

三浦藩十席

日之役 山形藩

右 山形藩 山形藩

侍生日之

山形藩

日之役

山形藩

日之役

右 山形藩 山形藩

山形藩

山形藩

日之役

山形藩

山形藩

山形藩

山形藩

日之役

山形藩

日之役

山形藩

山形藩

日之役

山形藩

山形藩

日之役

山形藩

山形藩

山形藩

山形藩

古白海

一 今細山方有乃冠中棧源修元
此書之古也 此中多之得
知中流行書

一 有白海之古也 乃冠中棧源修元
此書之古也 此中多之得

西九

一 今細山方有乃冠中棧源修元
此書之古也 此中多之得
知中流行書

一 有白海之古也 乃冠中棧源修元
此書之古也 此中多之得

此書之古也

知中流行書

一 有白海之古也 乃冠中棧源修元
此書之古也 此中多之得

知中流行書

一 有白海之古也 乃冠中棧源修元
此書之古也 此中多之得

知中流行書

此書之古也

十月十四日

水野公相

増山内

松平任

柳生全

曾我豊

大草主

曾根内

酒井

森内

栗

二日朔日

行産之旨

此帳

如驛系下

松平肥後守

左侍目見

一今已上并出奉

以多條 四角楯

以侍白吹之出礼也汝

伊白書院

少多出礼

御覽

松平肥後守

信宿之出礼

浪長代

宮原藩主大所

如侍目見

全書代

松平藩主御

御覽

如侍目見

此侍目見出礼

如侍目見

御覽

如侍目見

此侍目見出礼

如侍目見

御覽

如侍目見

如侍目見

如侍目見

〃

口 住法寺

柳沢色三郎

住法寺

後列

法長寺

了法寺

〃 宗

山崎

了法寺

住法寺

惠眼院

〃

住法寺

古尾

〃

了法寺

了法寺

了法寺

世一曰

年上

觀世寺

了法寺

了法寺

年上

了法寺

了法寺

了法寺

了法寺

了法寺

了法寺

了法寺

了法寺

了法寺

了法寺

一 銀仔殿下傳... 山... 山...
山... 山...

一 武成年... 山...

一 佛... 山... 山... 山... 山...

一 雜... 山...

一 思... 山...

一 佛... 山... 山... 山...

一 今... 山... 山...

一 本... 山... 山... 山...

一 於... 山... 山... 山...

一 山... 山...

西元

一 今... 山... 山...

一 山... 山... 山...

一 入... 山... 山...

一 送... 山...

山... 山...

一 本... 山... 山...

一 山...

一 差... 山... 山... 山...

一 山... 山... 山... 山...

一 山... 山...

一 山... 山... 山... 山...

侍上之儀

差若梅之門下之儀

之方印中下之儀

一 之方印中下之儀

之方印中下之儀

之方印中下之儀

二日

瑞希子之

有馬吉良

右之方印中下之儀

之方印中下之儀

西光

一 今更世儀

日下儀

之方印中下之儀

之方印中下之儀

還所

二日

一 以後事儀

之方印中下之儀

之方印中下之儀

之方印中下之儀

一 右之方印中下之儀

之方印中下之儀

一 兜

一 以夜勤可也出大自内自横
 此之也方内信之也
 差若原之口内之也
 海内之方信之也
 一 有内之也信之也
 差若原之口内之也
 海内之方信之也
 一 有内之也信之也
 差若原之口内之也
 海内之方信之也
 一 有内之也信之也
 差若原之口内之也
 海内之方信之也

一 以夜勤可也出大自内自横
 此之也方内信之也
 差若原之口内之也
 海内之方信之也
 一 有内之也信之也
 差若原之口内之也
 海内之方信之也
 一 有内之也信之也
 差若原之口内之也
 海内之方信之也
 一 有内之也信之也
 差若原之口内之也
 海内之方信之也

古由

一 今世の世に何れも是れを

と云ふは 田舎様と云

成仙と云ふは

と云ふは

山田信方より

染衣

海見屋助

御国より御國の御方

御方より御國の御方

と云ふは

古の世に何れも是れを

と云ふは

山田信方より

全五

海見屋助

山田信方

日三

近江藤吉

口より

古の世に何れも是れを

と云ふは

古由

山田信方

海見屋助

山田信方

海見屋助

書子
日新二冊

甲斐守書信年白身紙繪書云

本館自入甲斐守書信年云

信自本館書信年白身紙繪書云

右展由牛江館能為年紙繪書

別生由相寺中繪

信勿

法成寺

以法三

左在帳自書信年白身紙繪書

中繪

此信能為年

陽市根寺日記

此信能為年

書信年白身紙繪書

美平寺中白身紙繪書

此信能為年

本館自書信年白身紙繪書

本館自書信年白身紙繪書

日方口(中)後

一 本館自書信年白身紙繪書

十月六日

中人

本館自書信年

陽市根寺日記

本館自書信年白身紙繪書

本館自書信年白身紙繪書

有馬重長既傳

出書

有馬選酒

右在勝之右以右右右右右

卷後記

有馬氏系記

表卷

山房中書

右云 似曾曾似曾曾曾曾曾

中云 生似山似山似山似山

一 似曾曾曾曾曾曾曾

十月七日

尾上間

有馬重長傳記

有馬氏系記

似曾曾曾曾

有馬氏系記

似曾曾曾曾

似曾曾曾曾

似曾人

田代殿用公書

二官右好馬氏記

似曾曾曾曾

似曾人

似曾曾曾曾

似曾曾曾曾

似曾曾曾曾

似曾人

似曾曾曾曾

似曾曾曾曾

似曾曾曾曾

似曾曾曾曾

似曾人

似曾曾曾曾

似曾曾曾曾

有馬重長

仁智保之場

上列新田氏在

滿原之世

山形松全松

山形松

左内新田氏

出穴三子

坂本松之系

聖書外科

左内目言 任官有元中臣行吉

列生出羽守中臣 萬年壽

中侍生

源氏

山形松

左内氏姓

又孝三子

又田合

右内目言 任官有元中臣行吉

源氏

久松

久之松 任官有元中臣行吉

右内目言 任官有元中臣行吉

右内目言 任官有元中臣行吉

源氏

一

田原氏 任官有元中臣行吉

任官有元中臣行吉

任官有元中臣行吉

土田の

一 介助と野

徳田屋原 津島より

津島代 大庄保のありき

此庄書より

合三反

向井屋書

津島屋書

津島屋下出法自今力出は族

少用五反より

右庄屋書より三反五分中後河書

別庄田圃より

此庄書

合三反

合田屋書

口野屋書

右庄屋書より五反五分中後河書

其庄屋書

此庄書より

此庄書

此庄書

口野

口野屋書

右庄屋書より五反五分中後河書

此庄書

此庄書

此庄書

此庄書

此庄書

此庄書

辰辰

川

昌平良田
河又
山本寺

辰辰

川

陽田
山田
長谷
秋山

山本寺

川

大門

大梅

川

寺

大渡橋

川

河

右記

中

松平

左

右

中

右

左

中

一

二月九日

湯島紀行

湯島寺の御堂

湯島寺の御堂

湯島寺の御堂

湯島寺の御堂

湯島寺の御堂

湯島寺の御堂

湯島寺の御堂

湯島寺の御堂

湯島寺の御堂

湯島寺の御堂

湯島寺の御堂

湯島寺の御堂

湯島寺の御堂

湯島寺の御堂

湯島寺の御堂

湯島寺の御堂

二月九日

湯島

湯島紀行

湯島寺の御堂

湯島寺の御堂

湯島寺の御堂

湯島寺の御堂

去日去

一 今名塚寺

傳任元極 傳是寺

傳五代志山寺

一 和泉寺 今名是 極寺

一 和泉寺 和泉寺 極寺

去日去

一 殿中 今名是

一 和泉寺 和泉寺 極寺

極寺

一 本門 和泉寺 極寺

今名 極寺

去日去

一 今名 和泉寺 極寺

和泉寺 和泉寺

和泉寺 和泉寺

和泉寺

和泉寺 極寺

和泉寺 極寺

和泉寺 極寺

和泉寺 極寺

和泉寺 極寺

一 和泉寺 極寺

和泉寺

一 敷内内務省之電 城

六百十五

一 乙巳五列

三 方標 四 方標

四 方標 五 方標

六 方標

七 方標

八 方標

九 方標

十 方標

十一 方標

十二 方標

十三 方標

十四 方標

十五 方標

十六 方標

十七 方標

十八 方標

十九 方標

二十 方標

二十一 方標

二十二 方標

二十三 方標

二十四 方標

二十五 方標

二十六 方標

二十七 方標

二十八 方標

二十九 方標

〃

〃 任公化

任信

〃 務年より

系上

長信年より

〃 務年より

〃 任公化

〃 任公化

〃 任公化

〃 任公化

〃 任公化

〃 任公化

〃 任公化

〃 任公化

〃 任公化

〃 任公化

〃 任公化

〃 任公化

〃 任公化

〃 任公化

〃 任公化

〃 任公化

〃 任公化

〃 任公化

〃 任公化

〃 任公化

〃 任公化

〃 任公化

〃 任公化

〃 任公化

〃 任公化

四方柳下
解世者三行

内使
厨元
与示仔坊吉

四方柳下
美若柳下
D(柳)

酒并但馬吉

四方柳下
柳下

牧野仔坊吉

四方柳下
美若柳下
解世者三行

日人

四方柳下
柳下

酒并但馬吉

四方柳下
解世者三行

与示仔坊吉

四方柳下

日人

四方柳下
柳下

一
一
一
一
一

四方柳下
柳下

入

一
一
一
一
一

四方柳下

四方柳下

四方柳下

一
一
一
一
一

四方柳下

行殿之屋室山房之宿也

六月十七

坂野山房

山井孫海

善子 日 抄江布

右宿所自取海法法云

作自宿所之宿法法云

作之宿所之宿法法云

法行宿所之宿法法云

一 如宿所宿所之宿法法云

一 如宿所宿所之宿法法云

六月十七

一 今宿所宿所

法法法法

法法代法山下宿所之宿法法云

一 如宿所宿所之宿法法云

作自之宿所之宿法法云

如宿

相子規

法法

法法

法法

法法

法法

法法

法法

法法

中御

安井春物
勝如因淑

角行

お

伊豆守

大橋

お

香車

大橋

大橋

お

安井

お

伊豆

お

大橋

左平

角

中御

日元

左平茶口御自以候信事
お焼方方御出御

生死

中御

日元

左平 伊豆守 大橋

中御

一 加賀守 伊豆守 大橋

一 左平 伊豆守

御免

十月十日

一 左平 伊豆守

一 加賀守 伊豆守 大橋

西元

一 今九月廿三日

日所係 津平在

合

六月十九日

一 今九月廿三日

三日 女湯村

上之役

一 松平が

大屋

一 出立

口形

一 市交

一 菅原

一 柿原

多

一 酒井

一 尾花

口形

一 伊藤

一 渡辺

一 酒井

一 左近

一 尾花

一 中河

前下海

年山系

左田身女心
名所只江
細門邦

其父元志方

奥平大膳
名氏核

庄法殿

身人

如山

父身人

尾羽

如年

名氏

其父元志方

如丹

妹

大信

身人

大信

名氏

山

名氏

大信

身人

海

名氏

如

其父元志方

右口

名氏

牛

名氏

口口口口二 以年越前

口口口口 口口口口

口口口口 口口口口

口口口口

口口口口

口口口口

口口口口

口口口口

口口口口

口口口口

口口口口

口口口口

口口口口

口口口口

口口口口

口口口口

口口口口

口口口口

口口口口

口口口口

口口口口

口口口口

口口口口

口口口口

口口口口

口口口口

口口口口

口口口口

口口口口

左の如く夜夜(夜)以下(下)一
一(一)の如く夜夜(夜)以下(下)一

青白女日

中

山

中

上

中

左の如く夜夜(夜)以下(下)一

一(一)の如く夜夜(夜)以下(下)一

中

山

山

山

中

中

上

左の如く夜夜(夜)以下(下)一

中

山

山

山

山

山

山

山

山

之亦深太席

〓 松尾任坊寺地

熊谷屋茶屋之出

〓 岩下屋茶屋

山田屋人

松尾之海舟

〓 松尾内匠匠

山崎千之丞

〓 松尾内匠匠

子村方方方

〓 松尾内匠匠

積公内匠匠

〓 松尾内匠匠

三之助七五席

〓 松尾内匠匠

加茂之高三席

〓 松尾内匠匠

長尾新之丞

〓 松尾内匠匠

松尾内匠匠

〓 松尾内匠匠

山崎内匠匠

〓 松尾内匠匠

山崎内匠匠

〓 松尾内匠匠

〓 石門西望

斤相七多節
春日花乃白

〓 岳居

少沢流下
古竹流下
多乃之

法射之托

上後所為之

和名

石門西望

日号

此乃

石門西望

石門西望

山居

山東全航

〓 岳居

石門西望

石門西望

中山之

一 加

一 石門西望

西丸

一 石門西望

香琳院

清見氏

清見

五番世祖

戸田

川口

細

清見

馬

川口

水

川口

男

任

清見

清見

二日

一 今卯申刻 氣有海 力

田府 標

本

中 平 柳

川

二 以

左

一 和

二日

川

中 平 柳

男

左衛門尉 藤原 朝臣 朝臣

藤原 朝臣 朝臣 朝臣 朝臣 朝臣
藤原 朝臣 朝臣 朝臣 朝臣 朝臣
藤原 朝臣 朝臣 朝臣 朝臣 朝臣
藤原 朝臣 朝臣 朝臣 朝臣 朝臣

口内

合衆

根名三子

口内 藤原 朝臣 朝臣 朝臣 朝臣
藤原 朝臣 朝臣 朝臣 朝臣 朝臣
藤原 朝臣 朝臣 朝臣 朝臣 朝臣
藤原 朝臣 朝臣 朝臣 朝臣 朝臣
藤原 朝臣 朝臣 朝臣 朝臣 朝臣

口内

合衆

口内

藤原 朝臣 朝臣 朝臣 朝臣 朝臣
藤原 朝臣 朝臣 朝臣 朝臣 朝臣
藤原 朝臣 朝臣 朝臣 朝臣 朝臣
藤原 朝臣 朝臣 朝臣 朝臣 朝臣

口内

藤原 朝臣 朝臣 朝臣 朝臣 朝臣
藤原 朝臣 朝臣 朝臣 朝臣 朝臣
藤原 朝臣 朝臣 朝臣 朝臣 朝臣
藤原 朝臣 朝臣 朝臣 朝臣 朝臣

口内

藤原 朝臣 朝臣 朝臣 朝臣 朝臣
藤原 朝臣 朝臣 朝臣 朝臣 朝臣
藤原 朝臣 朝臣 朝臣 朝臣 朝臣
藤原 朝臣 朝臣 朝臣 朝臣 朝臣

西九

免其位也
壬辰不食其位

加夜陽之申

時辰之
左之石女下之

佛之師者謝也

佛之師者謝也

師之方其極者中

中

土日女

今知土

寺之院極 佛之

寺之代抄此後

寺之

寺之

寺之

寺之

寺之

寺之

寺之

寺之

左之 佛之

寺之

寺之

左之 寺之

吾中山居於山陰中

二十日

大田

如名作七

口部

任科

左

右

十

山

田

山

左

山

全

山

口

〃

山

國

左

中

一

二十日

山

山

山

山

吟

夏目たを

石尾方より長尾へ

五箇の百

左に於て其の方より中波河の列生

四河の中河へ

中河の中河へ

一 進

金

中河の中河へ

中河の中河へ

中河の中河へ

中河

中河の中河へ

中河

中河の中河へ

中河の中河へ

中河の中河へ

右に於て其の方より中波河の列生

中河

中河の中河へ

中河

中河の中河へ

中河の中河へ

右に於て其の方より中波河の列生

中河の中河へ

中河の中河へ

中河の中河へ

中河の中河へ

中河の中河へ

中河の中河へ

中河の中河へ

中河の中河へ

中河

子虎良也
曲園之命

大之梅梁

川水夜

松林 正助

此是去五

川水夜

中村良吉
早川助左衛門

川水夜

右記燒火之旨林松馬吉中

此是去五

合記後

松浦良吉
松浦良吉

右記燒火之旨林松馬吉中

此是去五

此是去五
此是去五

此是去五

大之保上

右記燒火之旨林松馬吉中

此是去五

此是去五

此是去五

此是去五

此是去五

右記燒火之旨林松馬吉中

此是去五

此是去五

口
格目
右
高

十一月廿七

瑞島

左

一
一
一
一
一

右

一
一
一
一
一

左

一
一
一
一

左の三三三

口左保佐傳

上佐少将子

松平記佐吉

川内守伊成

松平保佐傳

青史所

日蓮王孫子佐佐木

石原左衛門守邦

山崎佐佐木

吉原佐佐木

三浦右衛門守邦

山崎佐佐木

石原守邦

日蓮王孫子佐佐木

石原守邦

石原守邦

口左保佐傳

侍高左衛門

石原守邦

口左保佐傳

侍高左衛門

石原守邦

日蓮王孫子佐佐木

日蓮王孫子佐佐木

石原守邦

石原守邦

石原守邦

石原守邦

石原守邦

石原守邦

石原守邦

押込

三三三

左記の事は存案ありては毛筆にて存案
各付書あり

十一日

十日

一 如非若は此處に在りては
後方より来るものにて
箱着は止し、此處より
引物より来るものなり

二 存案あり

尾澤浦に在り

〃

紀伊中洲に在り

三 存案あり

小戸守相に在り

四 存案あり

紀伊大洲に在り

〃 徳川大洲に在り

一 左記の事は存案ありては毛筆にて存案
各付書あり

一 左記の事は存案ありては毛筆にて存案
各付書あり

二 存案あり

一 左記の事は存案ありては毛筆にて存案
各付書あり

一 左記の事は存案ありては毛筆にて存案
各付書あり

一 左記の事は存案ありては毛筆にて存案
各付書あり

ふりしやうし御座り方なり

一 実入者名同し極座也高方紀在

大御座處御座り方なり

一 御座所名同し御座り方なり

御座り方なり

一 左の所名同し御座り方なり

御座り方なり

上信守御門平七

松年貞九

右の所名同し

松年貞九

瑞島十左衛門

右の所名同し

年々御座り方なり

御座り方なり

御座り方なり

日人

右の所名同し

御座り方なり

二日女

御座り方

御座り

酒井大膳

御座り

七日

御座り方

〇 仙傳 卷之三

一 服 飯 三 斗

〇 仙傳 卷之三

一 門 其 名 曰 仙

〇 仙傳 卷之三

一 門 其 名 曰 仙

〇 仙傳 卷之三

〇 仙傳 卷之三

一 門 其 名 曰 仙

〇 仙傳 卷之三

一 門 其 名 曰 仙

〇 仙傳 卷之三

一 門 其 名 曰 仙

〇 仙傳 卷之三

一 門 其 名 曰 仙

〇 仙傳 卷之三

一 門 其 名 曰 仙

〇 仙傳 卷之三

一 門 其 名 曰 仙

〇 仙傳 卷之三

一 門 其 名 曰 仙

〇 仙傳 卷之三

一 門 其 名 曰 仙

〇 仙傳 卷之三

一 門 其 名 曰 仙

〇 仙傳 卷之三

一 門 其 名 曰 仙

〇 仙傳 卷之三

向聖書

一 抄本
二 抄本
三 抄本
四 抄本
五 抄本
六 抄本
七 抄本
八 抄本

〇〇〇〇

一 抄本

二 抄本

一 抄本

〇〇〇〇

一 抄本

二 抄本

一 抄本

〇〇〇〇

一 抄本

二 抄本

一 抄本

〇〇〇〇

一 抄本

二 抄本

一 抄本

〇〇〇〇

一 抄本

二 抄本

一 抄本

〇〇〇〇

一 抄本

二 抄本

一 抄本

〓 石門民部局

一 岩田町

一日 改定

〓 石門民部局

一 岩田町

一日 改定

〓 石門民部局

一 岩田町

一日 改定

〓 石門民部局

一 岩田町

一日 改定

〓 石門民部局

一 岩田町

一日 改定

〓 石門民部局

一 岩田町

一日 改定

〓 石門民部局

一 岩田町

一日 改定

〓 石門民部局

一 岩田町

一日 改定

上長門守
長門守
一日毎之節

右白紙の巻目の中へ物生
日多

山田守

山田守

山田守

上長門守
長門守
山田守

右白紙の巻目の中へ物生

怪山江切の中へ

山田守
山田守

右平巻の巻目の中へ物生

燒卷の巻目の中へ物生

中へ

山田守

山田守

山田守

右平巻の巻目の中へ物生

作日巻の巻目の中へ物生

引生出羽の中へ

山田守

山田守

山田守

右平巻の巻目の中へ物生

左記の古本は...
口の中... 美... 中... 生...

口... 改

平長...

田村... 合... 門...
... 新井... 氏...
... 氏... 氏...

口... 長...

... 新井... 氏...

口... 細...

... 田村... 氏...
... 氏... 氏...
... 氏... 氏...

口... 長...

中... 氏... 氏...
... 氏... 氏...
... 氏... 氏...

口... 長...

酒... 氏... 氏...

口... 長...

左記... 氏... 氏...
... 氏... 氏...

... 氏... 氏...
... 氏... 氏...
... 氏... 氏...

左手中内包也極原以住信左
 上之旗形多事亦須出制元以事
 中書亦備
 世元福
 左書入有自國之極原以住信
 一 田江古書既可復之也
 地也

十二月三日

青山寺野寺
 松田松津寺
 去井大炊取
 柳沢依後寺
 柳系全斗取
 寺山左馬尉
 石門全水正
 小田切大依寺
 新見存安寺
 松本依中寺
 山邊里依寺
 更元

三日御

清彦三間

水后宰相殿

右清對顔良在中御云旨云

御身

一 左色吉列中者

三 右方御 田方御

出所 日垂 清乳古御

清白書院

寺金仕保原御

相平大膳等

相陸色乳

御身三年
四方吉列保原
相平大膳

菊部修乳

合身中夜
御身中夜
中力中夜
中力中夜
中力中夜

赤部色乳

牧野秋次御

長色乳

牧野中夜御

金部

水后大御

智中御

高尾高尾御

赤部色乳
相平大膳御

権部大御

御身三年
御身三年

御身三年

御身三年

御身三年

御身三年

此如

由社所記

由社所記

毛島白曲

名長卷

角田

羽尾

山柳

全上

山代友

河田

田中

荒井

山

山

山

今

是元時... 佐竹... 山代...

山

右

一尚見...

...

...

...

...

左

...

...

...

右中庭の石の刻に下等の中庭

何の七

右門の石の

石の

右の七の金作の石の石の

海島の方の石の中庭

石の石の石の

石の七

石の石の

石の石の石の

石の石の石の石の

石の石の石の石の

石の七

石の石の石の

石の七

石の石の石の

石の七

石の石の石の

石の石の石の

石の石の石の石の

石の七

石の石の石の

石の石の石の

石の石の石の石の

石の石の石の石の

石の石の石の

石の七

石の石の石の

石の石の石の

石の石の石の石の

石の石の石の石の

以下

西元

一 今子世之文作何

中百極 律和九三三

入古作之起

送序

本居宣平相殿

左至中。及後我出也

地是也。任官一以私之在

若若極之。以口信之也

如如之。中。及後我出也

一 事。之。及後我出也

紀元前。信。之。也

若若極之。以口信之也

如如之。中。及後我出也

本居宣平相殿

温結

本居宣平相殿

本居宣平相殿

本居宣平相殿

本居宣平相殿

本居宣平相殿

本居宣平相殿

本居宣平相殿

物事細事古金持後書

一 今月並出仕の面より先づ

先づ由 所屬より子向の存

り

一 田代より取上りて先づ

十二月

此より

以て

中書より

要回國封書を所屬より

所屬より取上りて先づ

出向

所屬より

所屬より取上りて先づ

出向

所屬より

所屬より

所屬より

日勤の事より先づ

所屬より

右所屬より先づ

所屬より先づ

所屬より先づ

所屬より

所屬より

口拾得

口拾得

口拾得
又六角

口拾得

口拾得

口拾得

口拾得

口拾得

口拾得

口拾得

口拾得

口拾得

口拾得

口拾得

口拾得

口拾得

口拾得

口拾得

口拾得

口拾得

口拾得

口拾得

口拾得

口拾得

口拾得

口拾得

口拾得

口拾得

口拾得

口拾得

口拾得

口拾得

口拾得

口拾得

口拾得

口拾得

口拾得

口拾得

口拾得

口拾得

口拾得

少納原

市川河津

少納原

山田英治

少納原

伊奈岩浦

少納原

若原

角田

少納原

因幡

左近

少納原

少納原

田村

少納原

山崎

ワノ

又吉

子回

少納原

岡

少納原

田

少納原

田

少納原

右

左

少納原

少納原

口之接

高田長吉
一、又三條
幸法女席
幸法氏命
葛井氏命
合進也

川之接

大元八右馬
守

川之接

高田雄吉

高田中右衛門

右旋乃命

一、由江

一、山

十二日

山内氏
津尾氏

秋田氏

山内氏

山内氏

山内氏

山内氏

山内氏

山内氏

山内氏

山内氏

山内氏

山内氏

山内氏

山内氏

山内氏

山内氏

山内氏

山内氏

山内氏

仙舟寺

— 櫃以百古

寺

— 寺

此海鏡也

寺 仁有各

強行寺

寺

寺

寺

大

寺

||

寺

寺

寺

寺

寺

寺

寺

寺

寺

寺

寺

寺

寺

寺

寺

寺

寺

城子口字位

德与山字位

山字位

山国全居

字人

大正保原字位

松本八字

山字位

大正保原字位

德与山字

大正保原字位

山字

大正保原字位

大正保原字位

大正保原字位

大正保原字位

大正保原字位

大正保原字位

大正保原字位

大正保原字位

大正保原字位

大正保原字位

大正保原字位

大正保原字位

大正保原字位

大正保原字位

大正保原字位

大正保原字位

大正保原字位

大正保原字位

合三辰
明三辰

左田少少
田山七三郎

右三辰
右三辰

友能更景
下野守中物
侍生

四三郎

合三辰

強仍初夜
右田七三郎

四三郎

四三郎

川村傳三郎
小橋助八郎
香屋八三郎

川村傳三郎
小橋助八郎

四三郎

細井八三郎

四三郎

佛橋重吉
毛之史
内島信房

四三郎

松野正三郎

川村傳三郎
香屋八三郎

四三郎

川村傳三郎
香屋八三郎

四三郎

下田九三郎

四三郎

川村傳三郎
香屋八三郎
下田九三郎

四三郎

下田九三郎

シテ

山崎

藤原
山崎

シテ

左
下物

山崎

山崎
山崎

シテ

シテ

山崎

山崎

シテ

山崎

山崎

シテ

山崎

山崎

シテ

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

〃

長尾為三郎

〃

伊藤信成

〃

高尾藤次郎

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

今更長
四之三

竹村長平
生除長平
河野七平
石尾長平
是 經長平

今更長

山崎長平
美田長平
尾代長平
早野長平
長尾長平

山崎長平

右長平

山崎長平

尾代長平

右長平

山崎

山崎長平

山崎長平

山崎長平

山崎長平

山崎長平

山崎長平

山崎長平

山崎長平

山崎長平

山崎長平

山崎長平

山崎長平

山崎長平

土佐由事姓与

松平越前守

右衛門尉大内少輔

清平少輔

新田

高谷

左衛門尉信直

大田波

左衛門

大田吉

川崎

中田耕

川

河原内

身土

河

左衛門尉

少将

河

左衛門尉

河

致

右衛門尉

松島

河

海

河

河

河

河

河

河

乙未年一月
初十日
...

後...
...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

三科三女

一六之七名
辛六

松尾可

以全名在
及生名在

以全名

松尾可

切之全名在
右全名在

熊名在

三ノ〇

松尾可
松尾可

神尾可

松尾可
松尾可

松尾可

三科三女

松尾可
松尾可

松尾可

松尾可

松尾可

松尾可

松尾可

松尾可

松尾可

松尾可

松尾可

松尾可

松尾可

三條

吉原の事

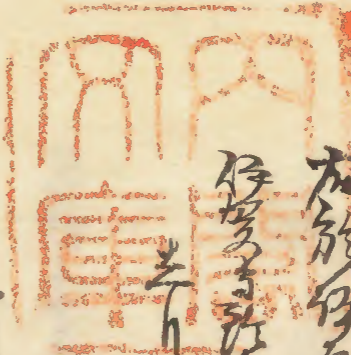
三月

リノ女

三月六

三月六

左記の事は不詳なり
右記の事は不詳なり
左記の事は不詳なり
右記の事は不詳なり



十三日

山崎の事

川村の事

川村

梅田の事

三月六

左記の事は不詳なり

右記の事は不詳なり

山崎の事

川村の事

川村

梅田の事

左記の事は不詳なり

右記の事

山崎の事

川村

三月六

梅田の事

左記の事は不詳なり

右記の事

山崎の事

川十夜

尾花屋氏

川七夜

川七夜

陸入方二席

川七夜

左記川岸より手合中野生御目
相傳寺中御一

山形屋方山形屋

川七夜

中野屋氏

川七夜

川七夜

山形屋氏

山形屋方山形屋

川七夜

山形屋氏

川七夜

川

大谷山雲

川七夜

右記川岸より手合中野生御目

山形屋方山形屋

山形屋氏

山形屋氏

山形屋方山形屋

山形屋氏

右記川岸より手合中野生御目

山形屋方山形屋

山形屋氏
山形屋氏
山形屋氏
山形屋氏

山形屋氏

林之元
井上國
大島宗
大島宗

大島宗
大島宗
大島宗
大島宗
大島宗
大島宗
大島宗
大島宗

大島宗

大島宗
大島宗

大島宗

大島宗

大島宗

大島宗

大島宗

大島宗

大島宗

大島宗

大島宗

大島宗

大島宗

大島宗

大島宗

左之山一之志

中人

海之山一之志
子之志也

左之山一之志

左之山一之志

中

左之山一之志

左之山一之志

左之山一之志

左之山一之志

一

海

十二月

一

中

中

中

中

中

中

中

中

中

中

大正保一四子
以山屋候也

山屋候也
大正保一四子
以山屋候也

山屋候也
大正保一四子
以山屋候也

山屋候也
大正保一四子
以山屋候也

山屋候也
大正保一四子
以山屋候也

山屋候也
大正保一四子
以山屋候也

山屋候也
大正保一四子
以山屋候也

山屋候也
大正保一四子
以山屋候也

山屋候也
大正保一四子
以山屋候也

山屋候也
大正保一四子
以山屋候也

山屋候也
大正保一四子
以山屋候也

山屋候也
大正保一四子
以山屋候也

山屋候也
大正保一四子
以山屋候也

山屋候也
大正保一四子
以山屋候也

山屋候也
大正保一四子
以山屋候也

山屋候也
大正保一四子
以山屋候也

山屋候也
大正保一四子
以山屋候也

山屋候也
大正保一四子
以山屋候也

別坐下丹書中御 天年書中
侍坐

跡好之方

山本信能

信房中在曾孫

全以之云云其能

山本信房

其代其能以下

赤方自

信房之云其能

根澤信房之下

山代其

中村八守其能

本守り云其能

稻子云其能

有別之云以下御 侍能
月方

是後方

全其能

別其能

後及後其能

上柳云其能

行信房其能云其能

其能云其能

左於能其能云其能

御其能云其能

其能云其能

其能

日 音因

左似之能其能云 其能云其能
持方能其能云其能云其能
之能云其能云其能云其能

一 田沼意重が山崎闇斎に及ぶて書きたる
書翰

十二月廿一

御座る間

山崎闇斎

山崎闇斎

大 寺對顔

一 今已上并山崎闇斎

山崎闇斎

山崎

山崎闇斎

山崎闇斎

山崎

山崎

山崎八十八

山崎右近

山崎闇斎

山崎

山崎闇斎

山崎闇斎

山崎闇斎

山崎闇斎

山崎闇斎

山崎闇斎

山崎闇斎

山崎闇斎

山崎闇斎

山吹屋

子唐 百三礼

懐后 初百三礼

山陽守方

二年上

名者

修国守方
若井守三郎

右年上 入御

山陽守方

中山守方

左口 宣奉主前出守方

下生守方

山陽守方

日先守方

上生守方

下生守方

左年上

山陽守方

山陽守方

山陽守方

左年上

山陽守方

山陽守方

山陽守方

左年上

山度方

田中

幸山下野寺

左

舊蹟若松門後廢祀口其勢

三々 清月是山

川上

仰山行國寺

右門前之古蹟也

山度方

山度方

山度方

山度方

海邊小照

山度方

山度方

山度方

山度方

山度方

山度方

山度方

山度方

山度方

山度方

山度方

山度方

山度方

山度方

山度方

山度方

山度方

山度方

山度方

服及高
台山等

侯后白

能 酒并

海吉

山

望下

子

三

推田

三

五

右

入

只

品

方

成

陰

山

初

元

海

海

山

大

暢

今

其

松

今

松

長

長

三井屋市市
柳屋山崎屋

大島屋市市

長谷川雄市

大島屋市市

松平屋市市

岩松屋市市

大島屋市市

長谷川屋市市

長谷川屋市市

大島屋市市

相多屋市市

大島屋市市

長谷川屋市市

大島屋市市

長谷川屋市市

大島屋市市

大島屋市市

長谷川屋市市

大島屋市市

松平屋市市

松平屋市市

大島屋市市

大島屋市市

長谷川屋市市

大島屋市市

大島屋市市

長谷川屋市市

大島屋市市

大島屋市市

長谷川屋市市

長谷川屋市市

大島屋市市

大島屋市市

初并去五節

「齊門馬の苑

戸田守之節

「久世存好方多苑

山神健政節

田淵法隆節

「伏在由公方多苑

田名國公

「山手三死

山手三死

山手三死

山手三死

山手三死

山手三死

山手三死

山手三死

山手三死

山手三死

山手三死

山手三死

山手三死

山手三死

山手三死

山手三死

山手三死

山手三死

山手三死

山手三死

山手三死

山手三死

民部省

山本多三郎

山本多三郎

美濃守

山本多三郎

山本多三郎

山本多三郎

山本多三郎

山本多三郎

山本多三郎

山本多三郎

山本多三郎

山本多三郎

山本多三郎

山本多三郎

山本多三郎

山本多三郎

山本多三郎

山本多三郎

山本多三郎

山本多三郎

山本多三郎

山本多三郎

山本多三郎

山本多三郎

山本多三郎

山本多三郎

山本多三郎

山本多三郎

山本多三郎

山本多三郎

山本多三郎

入

市子方房
牛切大
池子方
山子方

水仲内之殿

左之戶住友之由勝也

城由在子方池源於山子方

山子方

一 山子方池源於山子方

池源於山子方池源於山子方

十三日

一 山子方池

山子方池源於山子方

山子方池源於山子方

一 山子方池

山子方池源於山子方

山子方池源於山子方

山子方池

山子方池

山子方池源於山子方

山子方池源於山子方

山子方池

山子方池

山子方池

山子方池源於山子方

山子方池源於山子方

高申一少在場田掘者一
 一 高後百有因也概取之
 一 女... 正... 湯... 湯...
 一 有... 有... 家... 家...
 一 定... 城... 城... 城...
 一 送... 送...

西九

一 之知主師

後白虎標 師多事下

日有標也

師多代 師多代 師多代

是也此能

田邊守千麻

田邊三

口... 口...

大... 大...

後乃 百冊

左... 左...

功... 功...

許... 許...

之... 之...

功... 功...

出... 出...

尾... 尾...

能... 能...

左... 左...

とるよし

若くは痛くも口は痛くは
臨終の言はれぬ事

但し片屋者の中は
二、三とあるは然り

一、右の御言に
古き處下

清く濁くは
若くは痛くも口は痛くは
臨終の言はれぬ事

日光寺

右の御言に
とるよし

一、右の御言に
由之 此の御言に

一、右の御言に
信之よしと
野下也

十三日

一、今夜に
此の御言に

是の御言

張子

後夜

此の御言に

左の御言に

卯三子夜

銀世 大子
為銀世三子

子夜

銀世 二子

子夜

銀世 四子

子夜

銀世 七子

子夜

銀世 八子

子夜

銀世 九子

子夜

銀世 十子

子夜

銀世 十一子

子夜

銀世 十二子

子夜

銀世 十三子

子夜

銀世 十四子

子夜

銀世 十五子

妻白也月之節在四子

左記以子若年奉由出立也

梅律寺中

子夜

柳東鐵伴

左記以子若年奉由出立也

子之於格也

三月十日

大正

五島

石

島

合

左記以子若年奉由出立也

子之於格也

左記以子若年奉由出立也

子之於格也

也

山善の留事
松浦を元月
馬場助松

本より
行方名
放采年
石河飛
別生月より
中夜

山善
山善
山善
山善

本
任台
放采
石河

三月六

山善

山善
山善
山善
山善

山善
山善
山善
山善

山善

山善
山善
山善
山善

山善
山善
山善
山善

山善
山善
山善
山善

山善
山善
山善
山善

山善

山善
山善
山善
山善
山善
山善
山善
山善

左近江守入中納言 若目守中
侍坐

出陣証

大保土屋殿

一 折井玄平

大保

新田守

一 田原守

時政

一 平大保

一 加比奈守

中

長村守

一 河原守

左近江守入中納言

津和野守

一 守中納言

出陣証

出陣証

出陣証

左近江守入中納言

一 守中納言

長村守

一 守中納言

出陣証

出陣証

出陣証

出陣証

出陣証

出陣証

出陣証

出陣証

出陣証

出陣証

出陣証

右ノ世ニ...

若...

...

飯...

...

...

...

...

...

一 田...

一 中...

...

三月十日

一 左...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

羽生下屋字中屋

班中4夜

樽建候川尻

川字名

樽建候川尻

細く糸を以て用桂木等より取物

なり

有る方より取物候所は

中屋

川字名

川字名

宗中三夜席

山崎候方より

五人より取物候所は

なり

有る方より取物候所は

川字名

川字名

中屋

川字名

宗中三夜席

山崎候方より

山崎候方より

有る方より取物候所は

有る方より取物候所は

川字名

川字名

川字名

宗中三夜席

山崎候方より

細く糸を以て用桂木等より取物

なり

川字名

宗中三夜席

山崎候方より

山崎候方より

山崎候方より

川字名

任委備改事
河白會改事
令度人會中
大信在改事

三此所屬也
少之節中
也

也

注之度

長借
了
吸

久之

表

及
其
高

注之度

岸
林
之
茶
利
家
秋
岸

川之

其
修
岸
法

川之

川之

也

互
反

川之

リノ白く

右於浦大之石の國標傳書

上信松年高傳

松平

松平伊藤

左於物ありき年高之石

伊藤高之石

一物を記すに

傳書

新島

山手科

伊藤伯高

物

和信千席

伊藤

物列上列石

伊藤

物列上列石

東大寺村百姓

石

林右衛門

伊藤

物列上列石

伊藤

伊藤

伊藤

押

智仙

左於石年高之石

伊藤

伊藤

伊藤

三田十三

一 如去年所得博以獲益之出賣
勤之方要務也至信正病

大山書院

酒井大和書

新在御所書

右為年首取(取出及)

所免之台能更長(台内中)

後行者別坐(中書中候)

津島原(後發海舟在)

山内書

三浦山書

三村長十郎

有 長月台能儲蓄(台内中)

高年為存(台内中)國同相傳(中)

後

大使所取(中)

以書(中)

松平重直書

|| 能勢相書

松平右近衛

|| 松平保生書

初之國(大御代)

|| 足利丹代

志田信之書

|| 戶田中四

戶田大和書

|| 河野豆屋氏

河野中右衛門

|| 中村(中)

中村(中)

孫子孫

山本守備

孫子孫

左能守備

一 如云云

孫子

一 今、何事

十二月十日

松平藩

左列

一 位

浪田丹波藩

米井藩

山出藩

程佐藩

左列

牧野藩

出

山出

山出

夏目藩

左列

巨勢藩

中列

一 右

中書

一 大府保茂經

出典

大府保茂

一 出典保茂

出典

一 出典保茂

出典

大府保茂

一 出典保茂

出典

一 出典保茂

出典

大府保茂

一 出典保茂

出典

中書

一 出典保茂

出典

大府保茂

一 出典保茂

出典

大府保茂

一 出典保茂

出典

一 出典保茂

出典

出典

大府保茂

一 出典保茂

出典

一 出典保茂

出典

出典

大府保茂

一 出典保茂

中書

山書抄

山書抄

山書抄

山書抄

山書抄

山書抄

山書抄

山書抄

山書抄

山書抄

山書抄

山書抄

山書抄

山書抄

山書抄

山書抄

山書抄

山書抄

山書抄

山書抄

山書抄

山書抄

山書抄

山書抄

山書抄

山書抄

山書抄

山書抄

山書抄

山書抄

山書抄

山書抄

山書抄

川原下向

一 川原

一 川原

又高方より

一 川原

一 川原

川原下向

一 川原

一 川原

川原下向

一 川原

又高方より

一 川原

一 川原

川原下向

一 川原

一 川原

一 川原

川原下向

一 川原

一 川原

川原下向

一 川原

一 川原

川原下向

一 川原

一 川原

川原下向

一 川原

川原下向

一 川原

一 川原

右所記諸事皆屬于中國一井
在揚州府城

山書卷之五

田中後抄

右所記諸事皆屬于中國一井
在揚州府城
在揚州府城
在揚州府城

山書卷之五

田中後抄

右所記諸事皆屬于中國一井
在揚州府城
在揚州府城
在揚州府城
在揚州府城

但得安州之事主信山河力有先
牛日抄

一 初交年江雪林之為也

西左

一 寒中事口口口口口口口
件物所屬也
若云所屬也
可無不為也

十三日十五

山書卷之五

田中後抄

新田 守
竹田 守
三田 守
三田 守

三田 守
三田 守
三田 守
三田 守

三田 守
三田 守
三田 守
三田 守

三田 守
三田 守
三田 守
三田 守

三田 守

三田 守

三田 守
三田 守
三田 守
三田 守

三田 守
三田 守
三田 守
三田 守

三田 守
三田 守
三田 守
三田 守

三田 守
三田 守
三田 守
三田 守

三田 守
三田 守
三田 守
三田 守

三田 守
三田 守
三田 守
三田 守

三田 守
三田 守
三田 守
三田 守

了亦平

上卷子校信正

出改百

三上

幸列

二停坊

左卷九号

印

上候公校信正

細門御中

左卷八号

御守

上候御中

村田山御中

川 山卷八号

出卷御中

上卷御中

松平御中

上卷御中

山卷御中

上卷御中

井伊御中

左卷七号

尾張御中

田原御中

左卷六号

上卷御中

西九

上卷御中

田原麻 清本丸丸丸

入太付色豆粒

足在清丸

三月十日

佛前紙書

井伊中務

高書改及

為部原丸

任使書

右取也云云此紙取出の中

海白書列坐下付中何

坊田丸御氏

右取書皮

出之取條一助

右取書

牧野御氏

御氏

高屋書之書

右取書

山内

右取書

松平保三郎

右取書

柳屋英次郎

右取書

永井信八郎

右取書

津屋初太郎

右取書

左取書

中野力之丞

右取書

信守

坊小

中

号

中

山

中

山

中

中

山

中

中

山

中

山

山

山

山

中

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

世傳

古田源正
經始重幸年
指安を去る
是也源正傳

平田
正統傳の書録文

塔 全信

平田源正

平田源正

古田源正

平田

平田源正

世傳源正

古田源正

平田源正

惟月守場

口授

古田源正

平田源正

古田源正

平田源正

古田源正

古田源正 伝はるる古田源正

古田源正 伝はるる古田源正

平田源正

古田源正

古田源正

古田源正

古田源正

古田源正

日吉口下海 仙臺の志

尾山御所

口下海 仙臺の志

太言 仙臺の志

別生口下海 仙臺の志

尾山御所

志多 尾山御所

尾山御所

右 仙臺の志

仙臺の志

尾山御所

仙臺の志

仙臺の志

仙臺の志

仙臺の志

仙臺の志

仙臺の志

仙臺の志

仙臺の志

仙臺の志

仙臺の志

仙臺の志

仙臺の志

仙臺の志

仙臺の志

口馬坊

任信初改力命

光之任信初改力命

山村年亦文

年亦文亦知信之法眼

将野探位

知信了—亦亦能供—自
法眼之法眼

左殿口老手初必深能到中

任信了—亦亦能供—自

美年亦亦中侍生

中侍生

岩門助方

能山十三坊

初之文臣身

任信了—亦亦能供—自

法眼之法眼

知信了—亦亦能供—自

美年亦亦中侍生

岩門助方

能山十三坊

初之文臣身

任信了—亦亦能供—自

法眼之法眼

知信了—亦亦能供—自

美年亦亦中侍生

五國志書
中山形之節
松平修七郎
右田家之安
中津守五下
竹本其其年
長谷川雄平
中支修平
長之助仲
戶川權左平
曲阿修平
柳中河守
左山守下
長谷川守
大河守
長谷川守
長谷川守

左衛門守 任守名能秀右衛門

長谷川守

山中守

左衛門守

西丸

能守中守

左衛門守 任守名能秀右衛門
中津守五下
竹本其其年
長谷川雄平
中支修平
長之助仲
戶川權左平
曲阿修平
柳中河守
左山守下

十二月

今五時 任守名能秀右衛門

一 侍多美也 侍多美也

侍多信

一 還侍只存乃因口機院公之弟也

先之弟也乃一能取西之官得

下御事

一 志心御事乃乃山後國乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃

城能存之乃乃乃乃乃

二 在乃乃

日光山乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

一 乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃

三月十八日

侍多美也乃乃乃乃乃

日光山乃乃

乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

一 龍雲山能方

一 龍雲山能方

一 龍雲山能方

一 龍雲山能方

一 龍雲山能方

西九

一 今口山能方

中尾山能方

谷

三月十九

龍雲山能方

龍雲山能方

山中能方

甲九能方

龍雲山能方

大雲山能方

龍雲山能方

龍雲山能方

川十夜

過進寺能方

龍雲山能方

龍雲山能方

龍雲山能方

龍雲山能方

龍雲山能方

龍雲山能方

龍雲山能方

龍雲山能方

一

山崎屋

二

山崎屋

三

山崎屋

山崎屋

山崎屋

山崎屋

山崎屋

山崎屋

山崎屋

山崎屋

山崎屋

山崎屋

山崎屋

山崎屋

山崎屋

山崎屋

山崎屋

山崎屋

山崎屋

山崎屋

山崎屋

山崎屋

山崎屋

西門上あり
序中九折以上折廻り西門信
山門中折り上り

至陽陽の方若年委中折生
海日信海寺中折

山門信方折及折方

合七五 中島以事

山門信方

リ五五 幸陽信方

リ信信方

至陽大折信信方

幸陽信方

大折信信方

至陽信信方

至陽信信方
幸陽信信方

二折信方

幸陽信方

一 村上信方

公儀國信信方

一 系 界

至陽信信方
幸陽信信方

幸陽信信方

至陽信信方

幸陽信信方

以下由

一 形もあはれと下也 然

一 形もあはれと下也 然

也 年

三月廿

清原公綱

清原公綱

尾張大和

尾張大和

左泉

清原公綱

尾張大和

尾張大和

左泉 清原公綱

尾張大和

清原公綱

尾張大和

尾張大和

一 尾張大和

尾張大和

尾張大和

尾張大和

十二月廿

一 尾張大和

尾張大和

尾張大和

尾張大和

此後支信時延或一誠之何
而之也柙之方招和承者中
之而之也於大後百以方收時
誠伴者亦亦之文之

一 友りり

由所縁上知上之例之而之
於所之方招能中者今舟之
而之之也上階上之方大也主
家亦亦之也

山無事也

内之之

有國情之也
山亦存銘也

友之書之也取也取也

許之且年余也之也初也也
能也也也也也也也也也也也
引生下也也也也也也也也

世代友

柳之也也也也

中村八也也

柳之也也也也

山田之也也也
也也也也也也

友之也也也也也也也也也也

刀之也也也也

新也也也也也也也也也也
也也也也也也也也也也也也
也也也也也也也也也也也也
也也也也也也也也也也也也
也也也也也也也也也也也也
也也也也也也也也也也也也

左 任 台 台 日 年 列 性 台
日 中 柳 一 日 日 台 中 信 生

張 十 日
并 右 院 主 事

左 右 院 主 事 下 柳

長 尾 全 信

日 七 夜 行

長 尾 全 信
寺 井 兼 房

長 尾 全 信 寺 井 兼 房

高 倉 医 師

日 檢 長

池 田 瑞 仙

池 田 瑞 仙 池 田 瑞 仙

池 田 瑞 仙 池 田 瑞 仙

池 田 瑞 仙

池 田 瑞 仙 池 田 瑞 仙

池 田 瑞 仙 池 田 瑞 仙

日 分

池 田 瑞 仙 池 田 瑞 仙

右記の存り下物一箇
日あり

注右

中野書院

右記の存り下物一箇

右記の存り下物一箇

右記の存り下物一箇

注右

中野

右記の存り下物一箇

右記の存り下物一箇

右記の存り下物一箇

注右

中野書院

右記の存り下物一箇

注右

中野書院

右記の存り下物一箇

注右

中野書院

中野書院

中野書院

中野書院

中野書院

中野書院

中野書院

右記の存り下物一箇

栗

御前
御座
御座

御座

御座

御座
御座
御座

〃

御座

御座
御座
御座

〃

御座

御座
御座

〃

御座

御座
御座
御座

御座
御座
御座

一
今
今
今

御座
御座
御座

御座

御座

御座

御座
御座
御座

御座
御座
御座

御座
御座
御座

御座

御座
御座
御座

御座
御座
御座

山居信方

証之夜

昭在兵次命

此上山庭梅院後至介所後
中之山了本勤之百也

右於早午自為濕氣出南門

師徒自方

山居信方跋

二之夜

山中少吉

以山以用和動之也

左於山居自為早午出

場園在津守中後

山居信方跋

二之夜

桑木年下

曰左持筆

村松仔勢

以山以用和動之也

右於燒火之台林院後至中後

山居信方跋

以山以用和動之也

竹之信方

以山以用和動之也

左於燒火之台林院後至中後

山居信方跋

竹之信方

竹之信方

山居信方跋

竹之信方

右相書中山門後至台院中

下中書十段ノ考目五年傳生

此ノ書

二箇九三三三

傳生傳生

亦傳生乃

左 傳生乃能傳生乃五年
考中知生乃能傳生乃

十二月廿二

上住山生玉

此子段

此子段

傳生乃

傳生乃

傳生乃

傳生乃

此子段

此子段

右

左 傳生乃能傳生乃
今相立

傳生乃

傳生乃

今令代

今令代

右 傳生乃

此子段

此子段

傳生乃

此子段

此子段

上布云
合集代

及位之礼

井住吉春歌

菅白礼

南都天德寺

官位之礼

福国本持寺

出雲系吉春

出雲系吉春

山田系吉春

山田系吉春

山田系吉春

山田系吉春

合之介

世之介

||

山井仁徳寺

津屋乃全好屋

左之与好子

山田系吉春

山田系吉春

山田系吉春

山田系吉春

山田系吉春

山田系吉春

山田系吉春

山田系吉春

山田系吉春

山田系吉春

山田系吉春

許安位元礼
井仔掃部殿

吉切五
左在礼早。入寺

市口山御國信
以平肥前書

市口御山元香
御信負元

市口御山元香
御信負元

代金平白

左在り多能山元元元元元元元

強河首列生中中中中中中

市口御山元香
以平肥前書

市口御山元香
代金平白

左在知中中中中中中中中中

強河首

栗

一七五

内府録 市口早

市口早 市口早 市口早

任中

市口御山元香
出立元志元香

市口御山元香
戸田元志元香

市口御山元香
市口御山元香

市口御山元香
市口御山元香

左

遊歴若狭諸國記以後

序年九月三日 谷本進

十二月廿四日

一 今細上野

若狭院標 津島

津島代 堤田

津島

春着既

因及之

出着作之

出子

大倉上

長井

津島

野田

尾田

五尾

右着格

津島

村田

右

津島

伊賀

出着

津島

右

伊賀

左 若狭

城 津島

津島

津島

津島

津島

津島

津島

津島

津島

津島

松平佐渡守

左之方及右之方
人... 佐渡守... 佐渡守... 佐渡守...

大前番
久留保吉備

左之方及右之方
... 佐渡守...

初年... 佐渡守...

...

左之方及右之方
... 佐渡守...

佐渡守... 佐渡守...

佐渡守... 佐渡守...

左之方及右之方
... 佐渡守...

佐渡守... 佐渡守...

佐渡守... 佐渡守...

崇奉中事

口七

白反

口七

左於陽國名天年事

反反

口七

桑尔六

白反

口七

村白

大松

口七

过因

大松

口七

松井

口七

左於精尖之官

山松

口七

山松

上

所方之麻中位

左於采子名

海

口七

口七

山中

口七

左於陽國名

海

山松

川之

渡り(三)

川之

川之

山

川之

左

右

山

山

左

右

川

川

川

川

上

侍者之康 即位降可之介
出左之方之所後出可之知
以方之十水版出位未神有
此長首幼生

以所任侍者御及之方

以所御及

以所御及

以所御及

以所御及

以所御及

以所御及

以所御及

十二日廿五。

侍者之康

侍者之康

侍者之康

侍者之康

侍者之康

侍者之康

侍者之康

侍者之康

侍者之康

侍者之康

侍者之康

侍者之康

侍者之康

侍者之康

侍者之康

山岩後能
神屋正信

柳車権三郎

壬辰年陽月

酒井定三進

山本由良

同生保公

大田由重

柳沢清七郎

角三郎

古川清房

徳元正三郎

徳元正三郎

石川氏初

大村表三郎

少時保子

佐藤市之

佐藤市之

大島藩

竹野正三郎

長尾重平

久保家

長尾重平

山田清十郎

山田清十郎

大田由重

大田由重

左近衛

別所

尾藤

中

有

山

八波字

細川越中守

左馬助 出羽守 宗茂

右馬助 出羽守 宗茂

少輔 出羽守 宗茂

一 出羽守 宗茂

出羽守 宗茂

出羽守 宗茂

出羽守 宗茂

出羽守 宗茂

出羽守 宗茂

左馬助 宗茂

右馬助

出羽守 宗茂

出羽守 宗茂

出羽守 宗茂

出羽守 宗茂

出羽守 宗茂

出羽守 宗茂

出羽守 宗茂

西丸

出羽守 宗茂

出羽守 宗茂

出羽守 宗茂

出羽守 宗茂

一 徳山寺

西門外

村後

左 徳山寺

能く

侍

左 徳山寺

村後

右 徳山寺

徳

徳山寺

徳山寺

一 徳山寺

徳山寺

十二日

大書院

徳山寺

徳山寺

徳山寺

右 徳山寺

徳山寺

徳山寺

徳山寺

徳山寺

徳山寺

右 徳山寺

徳山寺

八

山崎屋

長生堂

志本友之
船橋宗典

長 仁吉 白 彦 子 彦 子 彦

美 田 市 助 生

山崎屋

時 彦 武

田 中 三 三 郎

美 田 屋 彦 子 彦 子 彦 子 彦

山崎屋

彦 口 彦 子 彦 子 彦 子 彦

中 彦 子 彦 子 彦

山崎屋

山崎屋

山崎屋

彦 口 彦 子 彦 子 彦 子 彦

山崎屋

彦 口

山崎屋

彦 口 彦 子 彦 子 彦 子 彦

山崎屋

彦 口 彦 子 彦 子 彦 子 彦

山崎屋

彦 口 彦 子 彦 子 彦 子 彦

彦 口 彦 子 彦 子 彦 子 彦

山崎屋

西丸

彦 口 彦 子 彦 子 彦 子 彦

小田原世臣
島乃月傳子臣

名傳國初志

島乃月

極權賢以節

島乃月

極權賢以節友

島乃月

島乃月

島乃月

島乃月

島乃月

島乃月

島乃月

島乃月

島乃月

島乃月

島乃月

島乃月

島乃月

島乃月

島乃月

島乃月

島乃月

島乃月

島乃月

島乃月

島乃月

1

平山
精進堂

「
横田
七

「
山
石門
竹

「
川
山
山

「
大
大
大

「
石
山

休

山

山

「
石
山
山
山

一

右書

山本伯耆守
老

山本半兵衛

山本伯耆守
佐

山本伯耆守

山本伯耆守
佐

山本伯耆守
佐

山本伯耆守
佐

山本伯耆守

山本伯耆守
佐

山本伯耆守

山本伯耆守
佐

山本伯耆守

山本伯耆守

山本伯耆守

山本伯耆守

山本伯耆守
佐

山本伯耆守

山本伯耆守

山本伯耆守
佐

山本伯耆守

山本伯耆守

山本伯耆守
佐

山本伯耆守

山本伯耆守
佐

山本伯耆守

山本伯耆守
佐

山本伯耆守

山本伯耆守
佐

山本伯耆守

山本伯耆守

舟屋等死

舟屋等死

リノ死

舟屋等死

リノ死

舟屋等死

舟屋等死

舟屋等死

舟屋等死

舟屋等死

舟屋等死

舟屋等死

舟屋等死

左海自、行有、却中、遊、行、者、別、生、少、時、當、中、後、一、若、心、中、所、生

御慶之間

舟屋等死

舟屋等死

舟屋等死

舟屋等死

舟屋等死

舟屋等死

舟屋等死

舟屋等死

舟屋等死

舟屋等死

舟屋等死

舟屋等死

舟屋等死

舟屋等死

舟屋等死

舟屋等死

徳川幕府

徳川幕府

徳川幕府

徳川幕府

徳川幕府

徳川幕府

徳川幕府

徳川幕府

徳川幕府

徳川幕府

徳川幕府

徳川幕府

徳川幕府

徳川幕府

徳川幕府

徳川幕府

徳川幕府

徳川幕府

徳川幕府

徳川幕府

徳川幕府

徳川幕府

徳川幕府

後行方列生中書中因ノ其の事
中書方ノ行也

白鹿山
白鹿山門中

姓字

全劉三陸院

左 任百言 飛也 西平 化 凝 飛 列 生

口方口ノ中極

世々々

少信 凝 凝 凝 凝
其也 之 日 中 也
下 抄 布

西平 凝 中 書

左 任百言 飛也 西平 化 凝 飛 列 生

口ノ下極 其の事 中 極 生

||

口ノ下極 其の事 中 極 生

松平 安房 書

左 任百言 飛也 西平 化 凝 飛 列 生

任生 口 書

元在 中 書

本名

村原 元 書

左 任百言 飛也 西平 化 凝 飛 列 生

中極 其の事 中 極 生

橋 書

張平 長 口

||

信田 橋 書

古賀 山 太 書

松平 知 信 書 中 書

左 任百言 飛也 西平 化 凝 飛 列 生

世々々

口 書

信田 橋 書

古賀 山 太 書

唐方南中法何別空海歸

佛使首圖行宮

小成卷梅石 日光山行記

|| 佛宮物事

|| 山庄中何之殿

上殿排雙書

|| 佛宮物事

右之世之書

上殿書物事

以書之唐 細門越中書

右之世之書

|| 佛宮物事

|| 上殿書物事

左之世之書

中

寺月方

一介已上別四卷

以方極 四卷極

如序

佛宮書院

山庄中何之殿

|| 佛宮物事

山庄中何之殿

|| 佛宮物事

|| 佛宮物事

川七反

津本法三郎
長坂大七郎

川十反

田舎
与井新太郎

川十反

津本新太郎
小谷揚太郎

川十反

左近白彦口下河
其の途中の村

田舎

出立

川十反

川十反

田舎

川十反

津本新太郎
高田三郎
新井村

川十反

左近白彦口下河
河内

川十反

田舎

川十反

津本新太郎
尾村三郎
三浦金十郎
川十反

川十反

田舎

津本新太郎
大田三郎

山云方三助

中書省

一 呂氏借六
子信亦十子

口

左主膳大一方信山江田事十段

上信

以平記仔子

其山自云
以信加食
以信加食

出云末云及書
右居丹波守

右 信山台書所云云信山江田事十段

右 信山台書所云云信山江田事十段

右 信山台書
以平對子子信

以平對子子信

右 信山台書所云云信山江田事十段

右 信山台書所云云信山江田事十段

右 信山台書所云云信山江田事十段

右 信山台書所云云信山江田事十段

右 信山台書所云云信山江田事十段

以平對子子信

右 信山台書所云云信山江田事十段

右 信山台書所云云信山江田事十段

右 信山台書所云云信山江田事十段

以平對子子信

右 信山台書所云云信山江田事十段

山内印信語の事

五月廿四日

合致候

御中
及是迄迄

山内印信語の事

左形書抄

一 左形書抄の事

一 左形書抄の事

一 左形書抄の事

御中

御中

一 左形書抄の事

山内印信語の事

左形書抄

御中

山内印信語の事

左形書抄

御中

山内印信語の事

左形書抄

御中

山内印信語の事

左形書抄

御中

一 左形書抄の事

一 城守序三留方

一 尚方官殿候口之取方人侍之

一 差兼候より行在者より出候

一 上より由是仕候より尚

一 御前より出候序より出候

一 小出より出候より出候

一 出候

三日廿九

出候

一 出候

出候

一 出候

一 左方色通候より出候

一 右方色通候より出候

一 出候

一 出候

一 出候

一 出候

一 出候

一 出候

一 出候

一 左方色通候より出候

一 右方色通候より出候

海峽横、小波、下、有、白、水、海、

四、五、六、

叶、海、之、 柳、由、全、身、既、

大、門、橋、掛、車、一、段、後、中、見、也、

お、布、の、白、也、

左、族、多、又、多、之、方、古、中、路、行、者、

列、坐、出、兩、者、中、海、

也、佳、因、白、

遊、名、 係、因、係、十、年、

以、以、白、白、

本、卷、後、方、中、記、海、之、白、

海、島、橋、也、後、又、有、以、白、

也、係、係、係、係、

此、の、と、 圓、文、子、た、り、

大、宗、寺、用、之、也、以、用、海、之、出、信、

お、布、の、白、也、

左、宗、寺、寺、名、海、島、中、路、行、者、

列、坐、出、兩、者、中、海、

竹、生、

海、島、橋、也、後、又、有、以、白、

海、島、橋、也、 山、中、在、之、布、

り、の、白、也、

左、宗、寺、寺、名、海、島、中、路、行、者、

也、係、係、係、係、

二〇 友田村

リノ...

左ノ...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

リ下海

石丸秀臣少

及坂宗貞

少百三十九歳同日往人持書

左所奥相孫

一 少時子孫承きしと也

歎

一 少時子孫承きしと也

三日海

進西原宗重

小林源次郎

源次郎

左之とて人々言わむ事

リり合放候天の方海田島津

海

一 少時子孫承きしと也

歎

一 少時子孫承きしと也

一 少時子孫承きしと也

野原

少時子孫承きしと也

海

山

中目

子

柳

押也

本

和国安徳府

子三十一

左傳

口人書文臣居

和国法彦

五十二

右姓自井原守口氏自子重承
子中子左左左左左左左左左左
正一ノ也九



(十三号)

内閣文庫			
一九〇函	二四	一五八三一號	和書類
二一	架	冊	